

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	樋管管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	河川流域沿線の市民	意図	樋管の管理、操作を的確に行い、一級河川の増水時に、市内へ河川の水が逆流しないようにする。
事業内容	樋管を定期的に操作点検を実施し、増水・減水時の樋管の開閉操作を行うものである。			
事業開始から現在までの状況変化	一級河川江戸川及び利根運河の一部樋管では、河川管理者である国から樋管操作を受託し、地元消防団など、迅速に対応が可能な方に樋管操作を依頼している。 平成27年度に、国土交通省が老朽化した諏訪下樋管昇降機の改修を行った。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	樋管操作点検回数	63	63	64	回	→→
②	増水時の臨時操作回数	8	11	2	回	→→	実績値
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
樋管操作については、迅速に対応可能な地元消防団などに委託している。台風、集中豪雨などにより、樋管操作回数は左右される。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,480,422	1,260,348	938,675
事業費(b)(円)	1,137,172	1,011,388	693,095
うち一般財源	1,137,172	1,011,388	693,095
職員給与費(c)(円)	343,250	248,960	245,580
人役・職員(人)	0.05	0.03	0.03
人役・再任用(人)		0.02	0.02
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・樋管を定期的に操作点検を行い、増水・減水時に操作できる状態を確保する。	③取組における課題(Check)	・老朽化した施設の改修が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	・樋管開閉操作を的確に実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・老朽化した施設の改修してもらうよう要望していく。 ・樋管の開閉操作を迅速に対応する。